

単元名	器械・器具を使つての運動遊び（固定施設）	配当時間	5時間
単元の目標	(1) 順番やきまりを守つて仲よく運動をしたり、運動をする場所や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 (2) 運動の仕方を知り、活動を工夫することができる。 (3) 固定施設を使つて、自分の体をいろいろな動かし、楽しく遊ぶことができる。		
単元を構想する上での留意点	低学年の児童は、自然に体が動き、自分で動きを作つたりまねをしたりすることが好きである。固定施設を使つた運動遊びでは、そんな児童に、いろいろな動きを發明させたり、友達の動きのまねをさせたりしながら、逆さになる感覚・スイングして振る感覚・腕で体重を支える感覚・飛び降りて着地する感覚など様々な感覚をバランスよく身に付けさせることが重要である。 本単元では、前半は各固定施設の安全な使い方を確かめながら遊ぶ活動を中心に展開し、後半は新しい遊びを作り出す活動へと発展させる。		
単元展開例			
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1～2 固定施設を使つた運動遊びの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 小ランドをなかよし電車で乗って探検しよう </div> ○グループを編成する。 ○電車ごっこをしながら、固定施設の安全な使い方を知り、できる遊びで楽しむ。（ねらい1） ・雲梯 ・登り棒 ・ジャングルジム ・タイヤ ・鉄棒 ・すべり台 ・ブランコ ・ろく木 ・朝礼台 ・階段 など		・電車ごっこをしながら、学校にあるいろいろな固定施設めぐりをするを知らせ、意欲を高める。 ・3～4人の少人数グループにする。 ・グループ名を 号車とつけると電車ごっこの雰囲気が出る。 ・教師が先頭車両となり各固定施設を回りながら、安全な使い方を知らせる。 ・固定施設を1つ回るごとに運転手を交代させる。 ・固定施設間を移動するときには、前の児童の両肩や腰に手を置いて連結して動いたり、連結しないで少し間を置いて連なりながら運転手の動きをまねしたりさせる。 ・第3～5時は各グループごとに好きな固定施設を回ることを知らせる。 ・第1～2時で行つた固定施設の安全な使い方についても確認しながら、学級の実態に応じて約束を決める。 ・運転手になる順番を確認させ、順番を守つて行わせる。	
3～5 電車ごっこをしながら、 <u>新しい遊び</u> を作り出したり、運転手の動きをまねしたりして楽しむ。 （ねらい2） ○電車ごっこの約束を知る。 ・運転手は自分の好きな固定施設にみんなを連れて行く。 ・1か所回るごとに運転手は交代する。 ・運転手はお客がついてきているか確かめてから動く。 ・お客は運転手のやつた動きをまねする。 まねできないときはそれに近い動きをする。 ○電車ごっこをしながら固定施設を回つて、楽しむ。 ○発表会をする。 ・各グループのおもしろい遊びを発表する。 ・発表された遊びをまねる。		・第3～5時は各グループごとに好きな固定施設を回ることを知らせる。 ・第1～2時で行つた固定施設の安全な使い方についても確認しながら、学級の実態に応じて約束を決める。 ・運転手になる順番を確認させ、順番を守つて行わせる。 ・運転手には、今までに友達がやつていない遊びを考え出すよう助言する。 ・発表された遊びの中からまねしたい遊びを選んで行わせる。 評 おもしろい遊びを発表する活動を通して、「技能」を評価する。	

- 反省し、まとめをする。
 - ・楽しかったこと ・がんばったこと
- 第5時は単元のまとめもする。

評 約束を守つて、楽しく電車ごっこをする活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。
・楽しくできたか、仲よくできたかななどの自己評価をさせる。